

## 教育委員会定例会（平成23年8月）会議録

|                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 日 時          | 平成23年8月11日（木）14:00～17:00   |
| 2. 場 所          | 新居浜市庁舎5階 大会議室  |
| 3. 出 席 者        | 委 員 長 三木由紀子<br>委 員 伊藤 嘉秀、宇野 征一、太田恵理子<br>教 育 長 阿部 義澄<br>事務局長 高橋 康文<br>総括次長 関 福生<br>次 長 坪本 道夫、坂本 睦美<br>課 長 藤田 秀喜、曾我 幸一、木村 和則、伊藤繁次郎<br>指導主幹 筒井 宗彦 |
| 4. 教育長の<br>一般報告 | 教育長の報告<br>7月分行事報告及び8月分行事予定について<br>その他  |
| 5. 記録者氏名        | 社会教育課 上野 壮行  |
| 6. 会議の概要        | <議 案><br>議案第34号 平成24年度使用中学校教科用図書について<br><br><その他><br>(1) 平成23年度新居浜市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価について   |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>三木委員長</p> | <p>それでは、定刻がまいりましたので、ただ今から平成23年第8回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、宇野委員さんと太田委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成23年第7回定例会会議録の承認につきましては、伊藤委員さんと宇野委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>では、議案審議に先立ちまして、傍聴人の皆様に申し上げます。</p> <p>まず、報道関係の方々は、議案審議に入りましたら、写真撮影、テレビ収録はご遠慮ください。</p> <p>次に、「新居浜市教育委員会傍聴人規則」について説明をいたします。入場の際に「新居浜市教育委員会傍聴人規則」を配付いたしておりますので、ご覧いただきたいと思っております。</p> <p>第1条から第7条までの規定がありますが、ここでは、第4条、第5条及び第7条を再確認させていただきます。</p> <p>それでは、読み上げさせていただきます。</p> <p>第4条 傍聴人は、次に掲げる行為をしてはならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) みだりに傍聴席を離れること。</li> <li>(2) 私語、談話又は拍手等をする事。</li> <li>(3) 議事の批評を加え、又は賛否を表明すること。</li> <li>(4) 飲食をすること。</li> <li>(5) 帽子をかぶること。</li> <li>(6) その他会議の妨害となるような挙動をすること。</li> </ol> <p>第5条 傍聴人は、委員長が傍聴を禁じたとき又は傍聴人の退場を命じたときは、速やかに退場しなければならない。</p> <p>第7条 この規則に定めるもののほか、傍聴人は、委員長の指示に従わなければならない。</p> <p>以上が、「新居浜市教育委員会傍聴人規則」でございます。第4条で規定しております行為をされた場合は、退場いただくこととなりますので、静かに傍聴をお願いいたします。</p> <p>それでは、ただ今から議案審議に入ります。報道関係の方々は、以後は写真撮影、テレビ収録はご遠慮いただき、着席して傍聴をお願いいたします。</p> <p>それでは、「議案第34号 平成24年度使用中学校教科用図書について」審議いたします。事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| <p>坪本次長</p>  | <p>はい。議案第34号「平成24年度使用中学校教科用図書につい</p>  |

て」ご説明を申し上げます。平成24年度から新居浜市の中学校で使用される教科用図書について、採択をいただくということでございます。

本年度の採択は、平成20年3月に新学習指導要領が告示され、3年の移行措置期間を経て、平成24年度からの全面実施となります。中学校用教科書9教科15種目について採択をいただきます。

教育委員会の採択にあたりまして、参考資料を取りまとめるため、教科用図書採択委員を委嘱申し上げ、「中学校教科用図書採択委員会」を設置し、協議・検討をいただきました。

教科用図書採択委員会において、協議・検討をいただくための資料として、まず1つは、学校現場の教員の意見を各学校単位にとりまとめ提出しております。これは、各学校全ての教員が、6月17日から7月3日までの休館日を除く14日間、新居浜教科書センターである別子銅山記念図書館において開催しました「教科書展示会」において、教科用図書を閲覧し、個々に「私の評価表」として評価したものを、各学校長に提出し、これを各学校長が「学校の評価」としてとりまとめ、教科・種目ごとに1位、2位の順位をつけて発行者を選定し、提出をいただいたものです。

2つめの資料として、市内中学校教員の中から、教科ごとに、原則3名の調査員を委嘱し、専門的調査・研究を行い、A（＝極めて適切）、B（＝適切）、C（＝おおむね適切）、D（＝工夫を要する）の4段階でご意見をいただいております。

3つ目の資料としては、市民の意見をお伺いするというので、「教科書展示会」において、ご意見箱を設置し、広く市民の皆様からのご意見をいただきました。結果、閲覧者名簿への記載が14名、ご意見箱への投函が16件ありました。この他、市民の方からの郵送・FAXによるご意見が、43件ありました。

また、愛媛県教育委員会から、教科書採択にあたりご指導・ご助言をいただきました。これらの資料を基に、教科用図書採択委員会がとりまとめ、所見を付け、採択委員会として選定した発行者を◎で、次点としたものを○で示し、教育委員さんのお手元に配布させていただきます。

教科用図書採択委員会でとりまとめをいただきました資料を参考にいただき、採択をいただきたいと存じます。

採択をいただく単位ですが、お手元の議案資料に添付いたしてお

|               |  |
|---------------|--|
| <p>三木委員長</p>  | <p>ります「平成24年度使用中学校教科用図書採択資料 調査結果の総括」の9教科15種目についてご審議をお願いいたします。</p> <p>はい、ありがとうございました。議案について事務局から説明がありました。質問はありませんか。</p> <p>はい、宇野委員さん、よろしく願いいたします。</p>   |
| <p>宇野委員</p>   | <p>今の説明の中に市民の方からのご意見をいただいているとの事ですが、その内容等について紹介していただけないでしょうか。</p>   |
| <p>筒井指導主幹</p> | <p>市民の方からのご意見として、教科書展示会でいただきましたご意見が16件、郵送またはFAXによるものが43件、合計59件のご意見をいただいております。</p> <p>その内訳として、①「育鵬社の歴史教科書を採択してほしい」というものが18件、②「育鵬社の歴史教科書を採択しないようにしてほしい」というものが1件、③「育鵬社の歴史・公民教科書を採択してほしい」というものが17件、④「育鵬社の歴史・公民教科書を採択しないようにしてほしい」というものが1件、⑤「自由社、育鵬社の教科書を採択しないようにしてほしい」というものが6件、その他16件となっています。その他のご意見として、「公平な採択を求める」、「教育現場の意向を尊重すること」、「審議の公開を求める」、「侵略戦争を肯定せず、憲法の理念を実現する方向に沿った教科書採択を求める」、「子どもたちが持ち運び易いようにできる限り統一した判型（サイズ）を考えてほしい」、「新教育基本法に最も適った中学校教科書採択を求める」などがありました。</p> |
| <p>三木委員長</p>  | <p>ありがとうございました。その他、ご質問はありませんか。</p> <p>はい、太田委員さん、よろしく願いいたします。</p>   |
| <p>太田委員</p>   | <p>個人的に意見を述べられている方も大勢おられたのですが団体で声明をくださっている団体がありました。どのような団体からご意見をいただいているのか、紹介いただけますでしょうか。</p>   |
| <p>筒井指導主幹</p> | <p>はい、団体名をご紹介させていただきます。「まゆみの会 どんぐり 子供と母の会」、「新居浜母親大会 要望書」、「愛媛 まゆみの会 かたり友の会」、「日本の文化・伝統を学び伝える女性の会」、</p>   |

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>「日本女性の会 愛媛」、「全教滋賀教職員組合」、「美しい日本の心を学び伝える父母の会」、「愛媛県教職員組合」、「新居浜労働組合連絡協議会」、「日本出版労働組合連合会」、「新日本婦人の会新居浜支部」、「日本高等学校教職員組合」、「兵庫教職員組合」、「岐阜県教職員組合」、「高知県教職員組合」、「長野県高等学校教職員組合」、「新居浜市PTA連合会」、「愛媛県教科書改善協議会」以上です。</p>   |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございました。その他ご質問ございませんでしょうか。はい、伊藤委員さん。</p>   |
| 伊藤委員   | <p>ただ今、ご紹介いただきました団体の中に新居浜市PTA連合会さんからの要望書があがっているようなのですが、新居浜市の学校教育の中では一番身近な団体だと思うのですが、その要望書の中身を教えていただきたいと思います。</p>   |
| 筒井指導主幹 | <p>新居浜市PTA連合会会長名でご意見・要望をいただいております。主な点について紹介させていただきます。中学校教科書採択における判型（サイズ）の考慮についての要望ということで、内容につきまして読ませていただきます。現在、使用されております教科書の判型はB5判が主体で、カバンなどには縦に2つ並べて納め、A4版の教科書などを横に詰めて登校しております。今回、検討している教科書に特殊サイズAB版の教科書がありますが、カバンへのおさまりが悪く、持ち運び時に荷崩れによる不都合も予想され、子どもの安全面でも影響するのではないかと考えます。安全面を阻害するものは可能な限り省くべきとの意見も寄せられており、子どもたちが持ち運びやすいように教科書はできる限り統一された判型が望ましいと考えます。以上です。</p> |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございます。他にご質問ございますか。伊藤委員さん。</p>   |
| 伊藤委員   | <p>先ほど、お話しいただきました調査員さんについてですが、それと教科書採択委員会の委員さんの人選はどのようにされたのでしょうか。</p>  |
| 筒井指導主幹 | <p>教科用図書採択委員会の委員につきましては、新居浜市教科用図</p>   |

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>書採択委員会設置要綱に基づき、小・中学校の校長及び教員の代表、小・中学校の保護者の代表、学識経験者、教育委員会事務局から任命・委嘱させていただいております。</p> <p>調査委員につきましては、設置要綱に基づくとともに、選出にあたっては校長及び教員の中から、新居浜市教科会での役員経験及び実績、教務主任、研修主任などの公務文書の経験者、教科における実績等を考慮し総合的に判断を行い、教育委員会が委嘱しております。</p> <p>以上です。</p> |
| 三木委員長  | ありがとうございます。よろしいでしょうか。   |
| 委員一同   | はい。   |
| 三木委員長  | <p>それでは、9教科・15種目についての教科用図書について、順に審議を行い、採択を行います。</p> <p>まず、国語について事務局からご説明をお願いいたします。</p>  |
| 筒井指導主幹 | <p>国語についてご説明いたします。お手元資料「調査結果の総括」の1ページをご覧ください。5つの発行者を対象としております。調査員においては、光村図書を総合評価A、東京書籍、教育出版及び三省堂をBとしております。学校の評価では、光村図書を1位とした学校が10校です。採択委員会では、それらを踏まえて、光村図書を最終評価Aとし、選定としております。ご審議をお願いいたします。</p>                                      |
| 三木委員長  | ありがとうございます。それでは、ご意見をお伺いしたいと思います。ありがとうございます。はい、太田委員さんお願いいたします。   |
| 太田委員   | はい。学校の評価も光村図書が1位、採択委員会の評価も光村図書がAということで一致しておりますので、光村図書でいいのではないのでしょうか。  |
| 三木委員長  | はい。他にご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。   |
| 委員一同   | はい。   |

|        |   |
|--------|---|
| 三木委員長  | <p>それでは採決を行います。国語の教科書について光村図書が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>結果、国語について、光村図書を採択といたします。</p> <p>次に、国語・書写について、事務局から説明をお願いいたします。</p>        |
| 筒井指導主幹 | <p>国語・書写についてご説明いたします。6つの発行者を対象としております。調査員において、光村図書を総合評価A、教育出版、東京書籍及び三省堂をBとしております。学校の評価では、光村図書を1位とした学校が11校となっております。採択委員会ではそれらを踏まえて、光村図書を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>            |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。ご意見があればお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>  |
| 委員一同   | <p>はい。</p>  |
| 三木委員長  | <p>それでは、採決を行います。国語・書写について、光村図書が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>結果、国語・書写については、光村図書を採択といたします。</p> <p>次に社会・地理的分野について、事務局から説明をお願いいたします。</p> |
| 筒井指導主幹 | <p>社会・地理的分野について説明いたします。4つの発行者を対象としております。調査員において、東京書籍を総合評価A、帝国書院をBとしております。学校の評価では、東京書籍を1位とした学校が9校、帝国書院を1位とした学校が3校ありました。採択委員会では、それらを踏まえて、東京書籍を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>       |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。ご意見をお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。阿部教育長さん、よろしく願いいたします。</p>   |

|        |  |
|--------|--|
| 阿部教育長  | <p>私は、採択委員会の報告を受け、また自分自身で見せていただきまして、東京書籍の教科書には、章の始めの導入部分で、全体的な把握や小学校との繋がり、教育委員会では小・中の連携と言いますが、教科書においても小・中の連携、繋がりから出されております。そういうふうな事から基礎的なもの、基本的な知識の定着を確実にしようという意図が見られるので、私は社会・地理的分野においては東京書籍を推薦したいと思います。</p> |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございました。他にご意見はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p>   |
| 委員一同   | <p>はい。</p>   |
| 三木委員長  | <p>それでは、採決を行います。社会・地理的分野について、東京書籍が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。<br/>(全員挙手)<br/>はい、ありがとうございました。<br/>結果、社会・地理的分野について、東京書籍を採択いたします。<br/>次に、社会・歴史的分野について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>                                   |
| 筒井指導主幹 | <p>社会・歴史的分野についてご説明いたします。7つの発行者を対象としております。調査員は、東京書籍を総合評価A、日本文教と帝国書院をBとしております。学校の評価では、東京書籍を1位とした学校が11校ありました。採択委員会ではそれらを踏まえて東京書籍を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>  |
| 三木委員長  | <p>はい、それでは各委員さんからご意見をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。太田委員さん、よろしくお願いいたします。</p>   |
| 太田委員   | <p>今回の歴史教科書の採択に際しまして、新居浜市内外から59件ものご意見・ご要望をいただいております。教育、すなわち人づくりだと思っております。人づくりに多くの大人が関心を寄せている、その事実に感謝したいと思います。また、日常の中で日本人として本来、持ち合わせていた良きものが失われつつある現実に危機感を感じておられる方が多いから、ご意見が多くなったのかなとも読み取れ</p>                |



ました。とりわけ、社会科教育は市民・国民としてのものの見方・考え方の土台となる科目であります。採択にあたりまして、私は広い視野に立った判断が必要だと考えます。私は、学校の評価、新居浜市採択委員会の評価、保護者の意見、市民の意見それぞれ同じ重みを持って判断をさせていただきました。また、新学習指導要領の目標であります「伝統と文化を尊重し、それらを育んできたわが国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」、そのような教育目標を達成できるか、そういう点に注目して各教科書を読ませていただきました。結論から申し上げますと、私は育鵬社の歴史教科書、「新しい日本の歴史」がよいと思います。私は、我が子には新居浜市そして日本の歴史に関心や愛着を感じることでできる日本人に育ててほしいと思います。新居浜市でもグローバル化が進んでおりまして、外国からの転入者はおられます。その子たちにも、日本の新居浜市に暮らすということを誇りに思える人に育ててほしいと思います。そして、新居浜市や日本の発展に力を尽くすことでできる人に育ててほしいと願っております。

さて、育鵬社の教科書には、日本人として知っておきたい歴史上の人物がきちんと取り上げられております。過去の時代に国を造ろうとした先人が、どのように考え、民衆をまとめ、苦難を乗り越えてきたのかが読み取れる人物コラムであったり、女性を取り上げた「なでしこ日本史」であったり、子どもの歴史への興味をそそる構成となっております。例えば、神武天皇、二宮尊徳、勝海舟、高杉晋作、愛媛の正岡子規、そのような日本人なら誰でも知っているような偉人の名前が出てこない現行の東京書籍では、日本の大事な歴史上の節目や日本人の勤勉、報徳の精神、大局的な視野に立って時代を変えていった知恵が伝えられず、たいへん残念で勿体ないことだと思います。

次に、我が国最古の歴史書とされる古事記や日本書記に記されております日本神話が具体的に書かれていますのは、育鵬社など3社のみであります。現行の東京書籍版には、書かれておりません。「イザナギ、イザナミの国産み」、「天照大御神の天の岩戸」、「大国主の命」、「因幡の白兔」など、日本神話を知らない日本人が増えるということは寂しいことですし、国の始まりを神話として記した古代日本人の高い文学性をしっかりと伝えてほしいと願います。ギリシャ神話と同様に、世界に誇れるものだと思います。中学生の子どもに

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>とって歴史を学ぶということの意味は、単なる知識の獲得ではなく、まず、日本人としてのアイデンティティーを確立することです。これからの国際社会で、日本人であることを誇りに、日本の良さをしっかりと語ることでできる国際人になってほしいと思います。そして初めて、他国の文化・伝統を理解し尊重できると思います。一部の団体の方、市民の方のご意見で、戦争記述について問題があるのではないかと心配のご指摘がありました。その点にも注意して教科書を読んでみましたけれども、相手国の意図や戦略、それに対して日本がとった苦渋の決断、日本が相手国にもたらした被害、その結果など、多面的な視点での記述がきちんとなされております。戦争を賛美、肯定するような記述は見当たりませんでした。新居浜市の教科用図書採択委員会の所見においても、育鵬社の教科書の記述内容に、戦争賛美などの問題点は指摘されていないことを申し添えておきます。教科書は、書き手の意図によって事実の切り取り方が違います。伝わる意味合いが、かなり変わってきます。読み比べをしてみて初めて、その差がわかりました。日本の先人への敬意が感じられない教科書では、我が国を愛する心は育めません。以上のような理由で、総合的に判断させていただいた結果として、育鵬社の歴史教科書がよいと考えます。以上です。</p> |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございました。他の委員さんいかがでしょうか。伊藤委員さん、お願いいたします。</p>  |
| 伊藤委員   | <p>意見を申し上げる前に、質問をさせていただきます。先程ご説明いただきました調査員さんのところなのですが、その前の質問で、PTA連合会から教科書のAB版は避けてほしいというようなご意見・ご要望書をいただいているのですが、このAB版のサイズについて、調査員さんのご意見というのはございませんでしょうか。</p>  |
| 三木委員長  | <p>はい、ありががとうございました。事務局からご説明お願いいたします。</p>   |
| 筒井指導主幹 | <p>歴史的分野の教科書についての造本の観点について調査員が述べているものを紹介させていただきます。育鵬社と東京書籍についての紹介でよろしいでしょうか。</p>   |

|        |   |
|--------|---|
| 伊藤委員   | <p>東京書籍さんは今度AB版に改正されておりますが、そのAB版の大きくなった教科書はできれば採択してほしくないという要望書がPTAから挙がっておりますが、そのAB版、大きくなったことで父兄の方は止めてほしいという意見があるのですが、調査員の皆さんはそれを手にとって何かご意見はございましたでしょうか。</p>   |
| 筒井指導主幹 | <p>判型のみについての調査員の意見というものは集約しておりません。ただ、各教科それぞれ3名ずつ調査員がおりますので、それぞれの教科書についての造本の意見は記載があります。その紹介でよろしいでしょうか。例えば、東京書籍は今回AB版のサイズになっておりますが、ある調査員は従来より幅広いサイズを採用することで、資料が充実するとともに読みやすくなっているというような判断をしています。同じく東京書籍AB版について、一単位時間の授業内容が見開き二項、2ページで構成されており、適量である。また、年間の分量も適切である。更に、判型をワイド版、AB版にしているため、他より本文や資料が充実しており、カラーバリエーションや環境への配慮もなされているというのが、2人目の調査員の意見です。もう1人については、唯一のAB版を採用している。他の教科書との大きさの違いで、持ち運びにはわからないが、資料が多く掲載されているため、活用には有効であるというような取りまとめをしています。よろしいでしょうか。</p> |
| 伊藤委員   | はい。   |
| 三木委員長  | はい、ありがとうございます。では、引き続きご意見をいただきたく思います。  |
| 伊藤委員   | <p>ありがとうございます。続いて意見を述べさせていただきたいと思いますが、私自身、仕事も教育界の者ではございませんでしたので、既成概念を持たずに、この教科書採択という勉強をさせていただくことができました。特に、出版社の名前をみただけでどうのということがございませぬしたので、特にその辺で言いますと、自分自身は、ご提供いただいたこの7社の歴史教科書、これをしっかりと自分で読んで、熟読した上で判断しないとイケないという思いで作業させていただきました。また、それを熟読した上で、多くの方からご意見や要望書をいただいております、その方々にでき</p>   |

る範囲で、私自身がお伺いをいたしまして、直接お会いしてご意見をお伺いするというので、幅広く皆さんの意見を偏らないようにお聞きさせていただいて、自分の参考にさせていただくということで、作業をさせていただきました。ただ、お会いさせていただいた方々は残念なのですが、この新しく印刷された私どもが提供されている本の中身というものを読まれずに、ご意見をいただいたというようなところもありました。

それは非常に残念で、この本の中にはどのような表現がされて、歴史のどの事象や、項目や、人名が、どの本にはどういうふうにかかれているのかということを読まれている方があまりいらっしゃらなかったということが、非常に残念でした。そういう意味で言うと、先程お話ししたのですが、今回、新居浜市のPTA連合会の役員さんから要望書をいただいております、その中に、今後は保護者も教科書の中身について勉強できる会を持たないといけないというふうに記されておりました。これは、教科書を採択させていただく私どもの立場からしても、本当にありがたい言葉だなというふうに思いますし、また、この教科書の中身を理解した上で大人同士が議論することによって、その広がりが子どもの学力向上につながるのではないかなというふうに思いました。

意見といたしまして、教科書を勉強させていただいた上で、改正されたこの教育基本法や学習指導要領を遵守するのはもちろんなのですが、私自身が教科書から新居浜の中学生、子どもたちに学んでほしいことが、5点ありました。それを踏まえた上で、教科書を推薦させていただきたいと思います。1つ目は、その教科を学習することが楽しく思える教科書であること。2つ目は、中学生が学習いたしまして、将来大人になっても、その教科の知識をもっと深めていこうという探究心を養える教科書であること。3つ目が、学説や大人の意見が大きく分かれている場合には、中立で、純真な子ども目で、広く両者の意見を学ぶことができる教科書であること。そして4つ目なのですが、教科を学習することによって、特にこの未曾有の震災の後ですので、命の大切さを学んで、人生を生き抜こうという力を養える教科書であること。そして5つ目が、学ぶことで故郷に自信を持ち愛することのできる教科書であること。この5点の観点から、私自身は教科書を読ませていただきました。結果、私自身は育鵬社の教科書を推薦させていただきたいと思います。育鵬社の教科書を開きました冒頭に、過去の歴史には成功や失敗の教

訓がぎっしりと詰まっいて、経験の宝庫だと記しております。そして、育鵬社の歴史教科書の中身には、多くの人物が掲載されておりました、歴史上の人物がどのように生きて、戦いや自然の荒波をくぐり抜けて生き抜いてきたのかがわかるように書かれております。歴史の事象や事柄が、時代を越えて、現代の私たちにも繋がっているのだということを学びとることができます。そういった内容になっているのが、育鵬社でございます。また、育鵬社の教科書は、さまざまな立場の方々の意見が掲載されておりました、子どもたちが生涯にわたって学習する上で、応用のきく内容が盛り込まれています。例えば、近代の歴史でありましたら、俗にいう南京大虐殺には、さまざまな見解と論争があるということも、しっかりと書かれております。そして、北京政府を率いた張作霖氏は日本軍によって謀殺されたということも掲載されております。これは、いろいろな立場のことをしっかりと書かれている1つの例ですが、歴史を通してさまざまところに、多くの方々の意見が取り入れられているように思います。私は今年、特に未曾有の被害をもたらした東日本大震災を経験した後であるからこそ、過去の人たちが努力して生き抜いてこられた姿をしっかりと書かれて、中立的にさまざまな立場の意見を取り入れている後者の教科書を、子どもたちに最も適している教科書として推薦させていただきます。内容としては以上なのですが、外見の大きさの問題は、PTA連合会の役員さんが要望書をいただきましたことに、私も同じ意見でございます。可愛い今の新居浜の子どもたちが、今現在もカバンいっぱいにして、朝、背負って登校しております。その上に、部活動の着替えと道具の入ったカバンを肩にかけて、夏には水泳道具、そして音楽の楽器を入れた道具箱を手を持って、雨の日には、さらに傘をさして登校しているというのが現状であります。そういった意味で言いますと教科書、ノート、資料を入れる背中のカバン、このカバンにもしかしたら入りきらないかもという可能性のあるA B版は、子どもたちにとって大きな負担を背負わされる可能性があるというふうに私自身は思いました。実際に、中学校3年生の娘にお願いしまして、歴史を学んでいるのは1年生の時なのですが、歴史のある曜日で1番カバンの中身が多い日の教科書とノート、そしてプリントファイル、資料集、それらを実際にカバンに入れてもらいました。現在は東京書籍さんのB 5判と小さいサイズなのですが、そのB 5判の教科書を1冊抜きましてA B版の教科書を入れてみました。教科書が、現在はカバ

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>ンの中で縦になっているのですが、A B版を入れることによって大きいので空間ができてしまいまして入りきらないので、A B版を横に入れれないといけない。今までは2冊でこの厚みだったのが1冊でこの厚みになってしまいますので、一番教科書の多い日のカバンには筆箱と連絡帳が入りきらないという状況でした。こういった可能性のあるA B版ですので、今後、出版社の方にもご検討いただくのは勿論お願いしたいと思いますし、できましたら、この4年間におきましても、このA B版の教科書というのは避けていただきたいと、私自身は思います。ぜひ、そういう意味で、バランスのとれた教科書を採択いただけるようお願い申し上げます。以上です。</p>   |
| 三木委員長 | <p>はい、ありがとうございます。他の委員さんいかがでしょうか。宇野委員さんお願いいたします。</p>   |
| 宇野委員  | <p>歴史教科書の内容を見たのですが、結局、最終的には東京書籍と育鵬社の2社に絞って、内容別に勉強させていただきました。その教科書を見た感想を、いくつか列挙して申しあげたいと思います。日露戦争の内容の中で、どちらも日本軍は勝利したというような表現があります。ところが、東京書籍には、戦争による犠牲や軍備の拡張による国民の負担は大きかったという表記がありました。育鵬社にしてみたら、勝ったことは植民地にされていた民族に希望を与えた、日本の強さを強調されていた、し過ぎているのではないかなと思いましたし、この内容を読みながら、発達段階の中学生からしたら、かなり理解が苦しいのではないかなと、私自身は感じました。それが1点で、育鵬社は難しいのではないかなと思いました。</p> <p>次に、足尾銅山の鉱毒についての供述について、育鵬社の方は簡単に触れておりました。東京書籍は、別子銅山・愛媛県、足尾銅山・栃木県というように記述もありながら、調べ学習ができるように、提示されておりました。別子銅山での先人たちの足跡の偉大さであるとか、工都 新居浜が現在、健在であるということとか、郷土を愛する大事な学習のきっかけになるのではないかなと、ということで、この内容についても東京書籍の方がいいかなと思いました。</p> <p>それから、水平社とか、水平社宣言とか、解放令とかいったところで厳しい差別に向かう人たちの内容が、東京書籍の方がしっかりしている、育鵬社の方が、軽く見られているような感じだと私は思いました。人権とか同和問題の弱い立場の人たちの視点は、避けて</p> |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>通れないことだと思います。</p> <p>それから次に、先程の日露戦争と似ているのですが、第二次世界大戦の内容で、東京書籍は、「ハワイの真珠湾を攻撃し、太平洋戦争が始まりました。」という記述で、育鵬社は、「ハワイにある真珠湾を攻撃しアメリカ太平洋艦隊に全滅に近い打撃を与えた。」と。事実はそうかもしれないけれども、ここにも日本は強かったというふうなことはあるわけですが、戦争のプラスの面とマイナスの面の表現が、育鵬社には足りないのではないかと。そういった点で、東京書籍の方は、戦争の負の部分をしっかり書かれておりました。</p> <p>それから次に、原子爆弾というところなのですが、東京書籍は、廃墟となった広島の写真を大きく載せていました。広島を中心とした調べ学習の資料が、4ページに掲載されていて、この原爆とか、平和とか、エネルギーとかいうような学習に、たいへん都合がいいとか、学習しやすいような内容になっているように思いました。</p> <p>最後ですが、以上のようなことで、私の教科書を見た感じの他に教科書採択委員会の総合評価というのがあるわけですが、調査員の評価がAとDというふうに分かれている、各校の評価が12対0である、学校現場の評価を大事にしないと教育現場は指導に混乱するのではないかと、という心配をします。以上のようなことから、私は、2社の比較の中でお互いに長短はありますが、東京書籍の教科書は、中学生の発達段階や史実にも照合して、公平で、公正な歴史教科書であると思います。以上です。</p> |
| 三木委員長 | はい、ありがとうございました。阿部教育長、よろしく願いました。   |
| 阿部教育長 | はい。社会科だけではなくて、国語でもそうなのですが、教科書を使って授業を行うと。そういう中で、教科書を通して子どもたちの夢であるとか、やりたいことに近づけていく。その中で生きる力を育てていくというのが、大きな目的ではないかなと。そして、授業で生きる力をどう育てるかということになってくると、授業の内容がわかりやすい、「今日、授業できた・理解した・分かった！」という思いを、子どもたちに伝えたいなど。そういうふうな中で、これから生きていく子どもたちにとって必要なものというのは、多面的な思考力、いろんなものが考えられるということ。また、公正   |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>三木委員長</p> | <p>な判断力が培われることが必要であるし、豊かな表現力というのが、これからの子どもたちにとっては必要であろうと思います。そういうふうな教科書というのは、どんなものだろうかという形で私は見ました。</p> <p>そして、子どもの発達段階に応じて、歴史が子どもたちにどう繋がっていくのか。そういうふうな点で、やはり先程地理の時にも申し上げましたが、自分は小学校6年間、そして中学校3年間、その中で新居浜の歴史っていう「私たちの新居浜」っていうのを小学校で使用し勉強しているのが、今の子どもたちです。その9カ年を見た時に、中学校へきた時に、小学校のことがもう1度リセットされるような内容である。もう1つは東京書籍の教科書には、「深めよう私たちの歴史探検隊」というふうなかたちで総合的な見方や考え方を育てようとしているということを考えました。そういうふうな観点で、育鵬社のことが話題になっていますが、私は東京書籍の方を推したいと思います。ただ、東京書籍の歴史分野の中で、非常に残念なのは、郷土の、俳句の代表である正岡子規が出ていないことです。しかし、中学生が使っている国語の教科書には、必ず短歌・俳句という分野、単元があります。そこには、正岡子規が出ています。そういうふうなところで、正岡子規を文化人として捉えて国語の方で出ていたので、新居浜の子どもも正岡子規については知ることができる。ただ、東京書籍に出てくる人物学習、人物の内容と育鵬社の人物については3倍か3.5倍くらいの人物像が多くなっております。その人物像が多いというのは、やたら多いというのもどうなのか、逆にやたらと少ないというのも問題がありますが、やはり、そのあたりについては、歴史だけではなくて美術もあるだろうし、音楽もあるだろうし、そういう教科から子どもたちは学習していきますので、足りないところは補完できて身に付くのではないかなと期待しております。そういうことで、私は先程も申し上げましたが、東京書籍の教科書を推薦したいと思います。</p> <p>はい、ありがとうございます。委員の皆さんからご意見を伺いました。結果、意見が分かれておりますので私の方からもご意見申し上げさせていただきたいと思います。</p> <p>私も教科書の方、いろいろ読み比べさせていただきました。今、東京書籍と育鵬社に関して話題も分かれております。意見も分かれておりますので、私は歴史というのはいろんな見方があって、どう</p> |
|--------------|---|



|        |  |
|--------|--|
|        | <p>見るかで全然かわってくる、そういう教科だと思っております。それをどういうふうに勉強していくかっていうのは勿論、それを現場で教えていく先生であり、生徒さんとのいろんな授業の中で、その歴史が本当はどうだったのかっていう部分だとか、いろんな部分を学んでいく、そういう教科だと思います。ですので、読んでみた時に、東京書籍の方は事実を書かれている、そこから掘り下げられているっていうことに関して若干、読み足りなさみたいなのを感じたのは事実です。ただ、やはり歴史というのはどう見るかで変わってくるので、以下の部分、背景とか両方から見た視点というのは、教科書もそうですが、他の資料などで補っていけないのかというふうに思っております。私の中で一番大きかったのは、学校の評価です。学校の評価、東京書籍を第1位とした学校が11校ありました。総合評価もAとなっております。現場の声というのは、やはり一番大事なことかなと、私自身は思っておりますので、私の意見としては東京書籍を推薦させていただきたいと思っております。以上です。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> |
| 委員一同   | はい。  |
| 三木委員長  | <p>それでは採決を行います。社会・歴史的分野の教科書について、まず、育鵬社からまいります。育鵬社が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(2名挙手)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、次に、東京書籍が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(3名挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>結果、東京書籍を採択いたします。</p> <p>次に、社会・公民的分野について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>   |
| 筒井指導主幹 | <p>社会・公民的分野について、ご説明いたします。7つの発行者を対象としております。調査員は、日本文教をA、東京書籍及び帝国書院をBとしております。学校の評価では、日本文教を1位とした</p>   |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>三木委員長</p> | <p>学校が8校、東京書籍を1位とした学校が4校となっております。</p> <p>採択委員会では、それらを踏まえて、日本文教を最終評価Aとし、選定しております。以上です。</p>   |
|              | <p>はい、ありがとうございました。それでは委員さんの方からご意見ありましたら、お伺いしたいと思います、いかがでしょうか。</p> <p>宇野委員さんお願いいたします。</p>  |
| <p>宇野委員</p>  | <p>いくつかの教科書の中から、先程と同じように2社、育鵬社と日本文教社に絞って教科書を勉強させていただきました。まず、子どもたちが学習する、その学力っていうのは、基礎的な知識・技能、考える力、それから次に繋がる意欲というようなこと、そういうことから考えて、理解がしやすいか、あまり学習内容が難しくないというような教科書も大事な視点だと思います。公民ですから部分的に言いますと、日本国憲法のところで、男女共同参画とか、平等とか、差別といった内容がどちらもありませんが、弱い立場の人たちの頑張りを大切にしていると感じたのは、日本文教出版でした。障害を乗り越えて頑張っている人たちも当然、大切にすべきだというふうに思いました。それから、憲法9条と自衛隊という部分については、育鵬社と日本文教出版は分かれているように思いましたが、どちらがいいというわけではなく、生徒たちにここは議論されたらいいなと、自分の意見を持った社会人に成長してほしいなと思いました。それから次に、国歌・国旗の内容ですが、国の法律として定められているということについては、どちらの教科書もそういう表現がありましたけれども、育鵬社の中に国旗・国歌の対する意識・態度が2ページに亘って掲載されていて、日本とアメリカを対比して、自国の国旗に起立するのが日本が25%、アメリカは97%。それから他国の国旗・国歌に対して起立するというのが、日本が17%、アメリカが93%とありました。日本では国旗・国歌に対して尊重する気持ちが薄いというのは、私たちが考えるわけですが、あまりにも日本とアメリカを対比するのは乱暴だなと。国の情勢が違うわけですから、参戦しているとか、現在戦争をやっている国と対比するのは、あまりにも苦しいなと思いました。ですので、日本文教出版の方が納得しやすい。国歌・国旗については、学校現場というのか身近なところでは、起立も斉唱もほとんど皆が協力して混乱なくいっていると思うので、そういう考え方でよ</p> |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>ろしいのではないのかなと思いました。それから、地球の環境問題、震災から大変重要な課題なのが資源・エネルギー問題ということなのですが、特に日本文教出版の方が大きく取り上げておりました。脱原発とか自然エネルギーの開発とか、そういうふうなところで、今最も日本人として子どもたちも考えなければならない内容だというふうに思いました、教科書の内容は、やはり日本文教出版が、子どもたちの発達とか能力とかいうことに一番合っているのではないのかなと思いました。先程も歴史のところでも申し上げたのですが、学校現場の教師が採択を希望する教科書をやはり大事にしたいということで、日本文教出版社を私は推薦したいと思います。以上です。</p>          |
| 三木委員長 | <p>はい、ありがとうございました。それでは他の委員さん、いかがでしょうか。伊藤委員さん、よろしく願いいたします。</p>   |
| 伊藤委員  | <p>はい、私自身は教科書を読ませていただいて育鵬社が一番、理解しやすいと思いました。以上です。</p>  |
| 三木委員長 | <p>はい、ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。阿部教育長さん、よろしく願いいたします。</p>   |
| 阿部教育長 | <p>公民的分野の学習の目的というのは、やはり社会に対する関心を高めて、そして、それを多角的・多面的に考察する能力ではないのかなというふうな捉え方で、教科書を見せていただきました。そういうふうな面で、日本文教出版の教科書は、各所に必ず身近な生活に即した事例を取り上げられている。そして、それをナビとかテーマとして子どもたちに考えさせる活動を入れている。また、終わりには、現代的な課題を取り上げて内容を掘り下げようとしているというふうなところから、やはり新居浜の子どもたちに、今の我々の生活はどうか、中学3年生としてはどうかかという判断力を身につけさせたいというふうな意味から、日本文教出版の教科書を推薦したいと思います。以上です。</p> |
| 三木委員長 | <p>はい、ありがとうございました。では、太田委員さん、よろしく願いいたします。</p>  |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>太田委員</p>  | <p>失礼いたします。公民の勉強は中学校3年生で勉強させていただきます。社会科の総仕上げであると思います。まさに、一人前の社会人として社会で活躍する準備段階の学習です。政治に参加したり、社会に貢献したり、そういうことができるように導く教科だと理解しております。そういう観点で読ませていただきまして、現在の日本文教社も、良い点・悪い点ございました。育鵬社にも良い点・悪い点ございましたが、私が一番重視したのは、日本国憲法が保障する国民の権利の学習はどの教科書でもなされておりますが、権利に対して果たすべき義務、そちらの学習が現行の教科書では少し弱いように感じました。それがバランスよく記述されていて、個人の利益と公共とのバランスをしっかりと書いているのは、育鵬社の公民教科書だと思いました。自分の権利の主張ばかりが上手になって、全体がよくなるという視点が欠けては、東日本の復興もそうですけども、日本の国をきちんと建てていくことは難しいのではないかと思います。そういう観点から、育鵬社の公民教科書を推薦いたします。</p> |
| <p>三木委員長</p> | <p>はい、ありがとうございました。公民の方も意見が分かれていますので、私の方からも述べさせていただきます。</p> <p>私も読ませていただきまして、それぞれに良い点もあり、また足りない点もあったのですが、先程と同様、学校での評価、現場での評価、採択委員会の評価というのも私は重く見たいと思います。</p> <p>従って、学校の評価8校と採択委員会を合わせた総合評価Aと評価されております日本文教の教科書を推薦したいと思います。以上です。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>  |
| <p>委員一同</p>  | <p>はい。</p>  |
| <p>三木委員長</p> | <p>それでは、採決を行います。社会・公民的分野の教科書について育鵬社が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(2名挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、日本文教が適切であると思われる委員さんは挙手をお願いいたします。</p>   |

|               |  |
|---------------|--|
| <p>筒井指導主幹</p> | <p>(3名挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>結果、日本文教を採択といたします。</p> <p>では、次に社会・地図について、事務局からご説明をお願いいたします。</p> <p>社会・地図についてご説明をいたします。2つの発行者を対象としております。調査員において、帝国書院を総合評価A、東京書籍をBとしております。学校の評価では、帝国書院を1位とした学校が11校となっています。採択委員会では、それらを踏まえて、帝国書院を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>  |
| <p>三木委員長</p>  | <p>はい、ありがとうございます。委員さん、いかがでしょうか。</p> <p>阿部教育長さん、よろしくお願いいたします。</p>   |
| <p>阿部教育長</p>  | <p>先程事務局の方から説明がありました帝国書院と東京書籍で、学校現場は帝国書院を、ということですが、私自身も2つの地図を確かめさせていただきました。やはり、内容が豊富であると。と言いますのは、帝国書院の地図帳はAB版のかたちになっております。それより以前はB版でした。この2つを見てみた時に、やはりこう教科書が広がったということは、より資料が豊富になっているという事と、もう1つは地名などの字が地図の場合はものすごく小さい。それが同じ大きさ、同じところを出しているのですが、やはり版が大きいから、地図が大きくなっている。非常に見やすい、視力の悪い子どもも、大きいとよりわかりやすいというふうなことを、地図帳で特に思いました。そういうふうな点で、教科書を補助する資料というふうなかたちの地図帳で、AB版というのは目のつけどころが良かったのかなというふうな思いで、帝国書院の方を子どもたちに持たせたいと思いました。</p> |
| <p>三木委員長</p>  | <p>はい、ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。よろしいですか。</p>   |
| <p>委員一同</p>   | <p>はい。</p>   |
| <p>三木委員長</p>  | <p>それでは、採決を行います。社会・地図について帝国書院が適切</p>   |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、社会・地図について帝国書院を採択といたします。</p> <p>ここで、約10分間休憩を取りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《 休 憩 》</p> <p>それでは会議を再開いたします。</p> <p>続きまして数学について、事務局からご説明をお願いいたします。</p> <p>筒井指導主幹</p> <p>数学についてご説明いたします。7つの発行者を対象としております。調査員において、啓林館及び大日本図書を総合評価A、他5つの発行者をBとしております。学校の評価では、啓林館を1位とした学校が4校、学校図書を1位とした学校が5校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて、啓林館、学校図書、大日本図書を最終評価Aとし、啓林館を選定としております。以上です。</p> <p>三木委員長</p> <p>はい、ありがとうございました。ご意見ございますでしょうか。伊藤委員さん、よろしくをお願いいたします。</p> <p>伊藤委員</p> <p>この結果では学校の先生方は、現在使われています啓林館の方を選定としましては◎にされていますが、○の方の学校図書を見させていただきましたら、実際に公式であるとか、習っている単元が実際の実生活の中では、どういったところで使われるのかが具体的に書かれておりました、図も使って非常にわかりやすく書かれておりました。そういう意味で、私自身は学校図書を推薦させていただきたいと思います。</p> <p>三木委員長</p> <p>はい、ありがとうございました。他にご意見ございますか。阿部教育長さん、よろしくをお願いいたします。</p> <p>阿部教育長</p> <p>教育委員会が、学校訪問というかたちで各学校の授業の様子を見に行きます。そういうふうな時に、少人数学級での授業をしている教科に英語・数学、小学校でも算数の授業が少人数学習をしている。</p> |
|--|--|

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>学校長に、なぜ算数や数学を他の教科もあるのに少人数学級を取り入れるのかというふうな話をした時に、やはり能力差が非常に出る教科であると。前の学習のことがわかっていなかったら、次のところに入ってもまたつまずいてくるというような、連続性が非常に強い教科である。だから、好き嫌いが激しくなる。できる・できない、わかる・わからないが明確になってくるのが算数・数学であるというふうなことを言われておりました。そういうふうなことから、現在使われている啓林館の教科書で、そういう問題が出ている。あと、授業をする教師の側の工夫も必要であろうというふうな気もしましたが、採択委員会の総括では、最終評価をお互いにAをつけております。最終的にどちらか1つを選ぶとしたら啓林館としておりますが、所見はほとんど同じであると。ですから、自分でどちらがわかりやすいのかというかたちで見ていった時に、苦手な生徒にも興味・関心の持てる内容、または、見やすい・わかりやすい表現、または、例示されているものはどちらかなという見方で、教科書を見せてもらいました。そういう中で、教科用図書調査委員の評価とは違うのですが、学校の評価としては学校図書の方を希望する学校が多いということからも、やはり学校図書の教科書の方が数学的な活動に、より子どもたちの興味・関心を高め、小・中の連携、また、復習や学び直しができやすいところが見られるので私自身は学校現場が選んでいる学校図書の方を選択したいと思います。</p> |
| 三木委員長  | はい、ありがとうございます。他の委員さん、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。  |
| 委員一同   | はい。   |
| 三木委員長  | <p>それでは、採決を行います。数学について、学校図書が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>結果、数学については、学校図書を採択といたします。</p> <p>次に、理科について事務局よりご説明をお願いいたします。</p>  |
| 筒井指導主幹 | 理科についてご説明いたします。5つの発行者を対象としております。調査員においては、東京書籍を総合評価A、大日本図書、教   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>育出版、学校図書、啓林館をBとしております。学校の評価では、東京書籍を1位とした学校が12校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて、東京書籍を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>   |
| 三木委員長 | <p>はい、ありがとうございました。それでは、ご意見いかがでしょうか。宇野委員さん、お願いいたします。</p>   |
| 宇野委員  | <p>理科の学習は身近なことが分かる、楽しい、もっと知りたい、もっと調べたいというようなことが、非常に大事な視点だと思います。</p> <p>そういう視点で見ますと、東京書籍が日常生活であるとか、子どもたちの生活体験であるとか、そういった身近なところの教材が多いなど。「運動の記録」という単元があるのですが、基本操作であるとか、処理方法であるとか、分かりやすく書かれておりますので、子どもたちにとっては楽しく学習しやすいのではないかなというふうに思いました。もう1つ、地球天体の学習、実際は大きな世界の学習になるわけなのですが、示された図も大変分かりやすいし、学習しやすいし、理解しやすいし、実験内容も実習もやりやすいというように私は感じました。調査結果の評価も東京書籍の評価がいいようですので、理科については東京書籍を推薦したいと思います。</p> |
| 三木委員長 | <p>はい、ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。阿部教育長さん、よろしくお願いいたします。</p>   |
| 阿部教育長 | <p>私も、東京書籍の教科書を推薦したいと思います。というのは、やはり自然科学的なものの見方、考え方を育てていく。そういうふうなところから、いろんな教科書があったのですが、今から学ぼうとする子どもに、観察または実験とか、図表というのが順序よく書かれていた。その通りにやっていけば、1つの結果が出せれる。そしてさらに、それを今度は自分自身がやっというかなという思いを持てる。また、それを他に転用できるような課題的な單元もありましたので、さらに知って深く学習できるという教科書が、今後も子どもたちの知識力を深めていける面で東京書籍の方がいいと思いました。</p>   |



|        |  |
|--------|--|
| 三木委員長  | はい、ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。  |
| 委員一同   | はい。  |
| 三木委員長  | <p>それでは、採択を行います。理科について、東京書籍が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、理科については、東京書籍を採択といたします。</p> <p>次に、音楽について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>                |
| 筒井指導主幹 | <p>音楽・一般及び器楽合奏についてご説明いたします。2つの発行者を対象としております。調査員においては、教育出版を総合評価A、教育芸術社をBとしております。学校の評価では、教育出版を1位とした学校が6校、教育芸術社を1位とした学校が、同じく6校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて教育出版を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p> |
| 三木委員長  | はい、ありがとうございました。ご意見がありましたら、お願いいたします。太田委員さん、よろしくお願いいたします。  |
| 太田委員   | <p>学校の評価が、2社の教科書に同じく6校ずつ分かれております。どちらの教科書も魅力的だなと私も感じました。採択委員会の評価は教育芸術社の方で、楽譜がやや見づらいとなっております。取り上げておりますテーマはどちらも魅力的だったようですが、楽譜が見づらいという点で、教育出版の教科書が私はいいと思います。以上です。</p>                    |
| 三木委員長  | はい、ありがとうございました。他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。   |
| 委員一同   | はい。  |
| 三木委員長  | <p>それでは、採決を行います。音楽について、教育出版が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p>   |

|        |  |
|--------|--|
| 筒井指導主幹 | <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、音楽について、教育出版を採択いたします。</p> <p>次に、美術について、事務局からご説明お願いいたします。</p> <p>美術についてご説明いたします。3つの発行者を対象としております。調査員においては、日本文教を総合評価A、光村図書、開隆堂をBとしております。学校の評価では、日本文教を1位とした学校が7校、光村図書を1位とした学校が3校、開隆堂を1位とした学校が2校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて、日本文教を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>  |
| 三木委員長  | <p>ありがとうございました。ご意見のある委員さんは、お願いいたします。阿部教育長さん、よろしくお願いいたします。</p>  |
| 阿部教育長  | <p>先程音楽をしましたが、音楽は耳の方へ入ってくる。それで自分の好き、嫌いを言えるのですが、絵とか、また違う表現方法になりますと、作者の意図というのが、なかなかわかりにくい。この曲は激しいとか柔らかい感じがするなど言うけれども、その絵を見た時は、なかなかわかりにくい。特に、現代美術になると作者の意図というのが、よっぽど見ていないと分からない。そういう面で、日本文教の教科書は、ところどころに作者の意図が書かれていた。それは、子どもたちにとって見方や、考え方や、作者の意図が分かるのでいいなと思いました。そういった点で、私は、日本文教の教科書を推薦したいと思います。</p> |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございました。他にございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>  |
| 委員一同   | <p>はい。</p>   |
| 三木委員長  | <p>それでは、採決を行います。美術について、日本文教が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>美術については、日本文教を採択いたします。</p>  |

|               |   |
|---------------|---|
| <p>筒井指導主幹</p> | <p>次に、保健体育について、事務局からご説明をお願いいたします。</p> <p>保健体育についてご説明いたします。4つの発行者を対象としております。調査員においては、学研を総合評価A、他の3社をBとしております。学校の評価では、学研を1位とした学校が10校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて、学研を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>                                     |
| <p>三木委員長</p>  | <p>はい、ありがとうございました。ご意見がございましたら、お伺いいたしますが、いかがでしょうか。阿部教育長さん、よろしくお願い申し上げます。</p>   |
| <p>阿部教育長</p>  | <p>保健体育で、中学校の教科の武道が必修というかたちになって、柔道、剣道、こういうふうな日本古来の武道が重要な科目になってきております。そういう中で、新しい内容に対しての取り組みというふうなこと。また、子どもたちの保健関係、子どもたちの成長の中で学研の方がより適切であったのではないかなというふうに思いました。</p>  |
| <p>三木委員長</p>  | <p>はい、ありがとうございました。他にご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、採決を行います。保健体育について、学研が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、保健体育につきまして、学研を採択いたします。</p> <p>次に、技術・家庭の技術分野について、事務局からご説明をお願いいたします。</p> |
| <p>筒井指導主幹</p> | <p>技術・家庭の技術分野についてご説明をいたします。3つの発行者を対象としております。調査員においては、東京書籍を総合評価A、他の2つをBとしております。学校の評価では、東京書籍を1位とした学校が10校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて東京書籍を最終評価Aとし、選定としております。以上です。</p>   |

|        |  |
|--------|--|
| 三木委員長  | はい、ありがとうございました。それでは、ご意見ございますでしょうか。宇野委員さん、よろしくお願いいたします。   |
| 宇野委員   | <p>調査結果のままがいいと思うのですが、教科書を見せてもらったら、製作材料の木材・金属・プラスチックの特徴とか、性質などを写真で示されて、子どもたちにとってみたら非常にやりやすいというような内容だったと思います。もう1つが生物、植物を育てる学習内容の中で身近な野菜づくりの解説が、私も興味があるのですが、大変良かったです。</p> <p>ですので、東京書籍を推薦したいと思います。</p>                              |
| 三木委員長  | はい、ありがとうございました。他、よろしいでしょうか。  |
| 委員一同   | はい。  |
| 三木委員長  | <p>それでは、採決を行います。技術分野について東京書籍が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。</p> <p>(全員挙手)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、技術分野について東京書籍を採択いたします。</p> <p>次に、技術家庭の家庭分野について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>   |
| 筒井指導主幹 | <p>技術家庭の家庭分野についてご説明をいたします。3つの発行者を対象としております。調査員においては、東京書籍及び開隆堂を総合評価A、教育図書をBとしております。学校の評価では、東京書籍を1位とした学校が7校、開隆堂を1位とした学校が4校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて、東京書籍及び開隆堂を最終評価Aとし、東京書籍を選定としております。なお、これは現行使用されている教科書と異なる発行者を選定としております。以上です。</p> |
| 三木委員長  | はい、ありがとうございました。ご意見がございましたら、お伺いいたしますが、いかがでしょうか。太田委員さん、お願いいたします。   |

|        |   |
|--------|---|
| 太田委員   | <p>現行の開隆堂を支持する学校も4校ございますけれども、東京書籍の方に移したいという学校が7校と数多くなっております。数だけでは判断ができるものではありませんけれども、学校現場の先生が、家庭科・技術科と男子生徒も女子生徒も習いますので、同じ発行者で統一がとれた指導ができるということで選ばれたと思いますので、東京書籍の家庭科でいいと思います。</p>  |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。阿部教育長さん、よろしく願いいたします。</p>   |
| 阿部教育長  | <p>太田委員さんと同じ意見ですが、以前は、男子は技術、女子は家庭科というふうな男女別の学習をしておりましたが、今は女子も木工をしますし、技術のパソコンもする。男子も家庭科の調理・裁縫というのやるようになっております。イクメンという言葉もある中で、男女が同じようなレベルで生活できる、それぞれの特性を發揮しながら生活できるということも同時に学習することができる。また、学校現場も7校が1位ということがあります。教科書を変えるというのは思いもいろいろありますが、やはり今回、男女揃えてみるということも一つの希望もあるので、私自身としては、東京書籍の方を今回は推薦したいと思います。</p> |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございました。他、よろしいでしょうか。それでは、採決を行います。家庭分野について、東京書籍が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。<br/>(全員挙手)<br/>ありがとうございました。<br/>それでは、家庭分野について、東京書籍を採択いたします。<br/>次に、英語について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>  |
| 筒井指導主幹 | <p>英語についてご説明いたします。6つの発行者を対象としております。調査員においては、開隆堂、東京書籍及び教育出版を総合評価Aとしております。学校の評価では、開隆堂を1位とした学校が8校、東京書籍を1位とした学校が2校となっております。採択委員会では、それらを踏まえて、開隆堂、東京書籍及び教育出版を最終評価Aとし、開隆堂を選定としております。以上です。</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 三木委員長 | はい、ありがとうございました。それでは、ご意見お伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。阿部教育長さん、よろしくお願いいたします。   |
| 阿部教育長 | 採択委員会からの資料で、東京書籍のところに、基本本文の提示の仕方にもうひと工夫ほしいというふうなことが報告されておりました。やはり今、小・中学生は5年生から英語活動、外国語活動ということで5・6年生が会話としての授業が取り組まれ、そして書き方も含めた筆記が入った教科書として中学1年生で英語を習います。そういう意味で、基本本文というのは一番大事なところではないかなと思うので、開隆堂を推薦したいと思います。  |
| 三木委員長 | はい、ありがとうございました。他にご意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。   |
| 委員一同  | はい。  |
| 三木委員長 | それでは、採決を行います。英語について、開隆堂が適切であると思われる委員さんは、挙手をお願いいたします。<br>(全員挙手)<br>ありがとうございました。<br>それでは、英語について、開隆堂を採択といたします。  |
| 阿部教育長 | すいません。よろしいでしょうか。   |
| 三木委員長 | はい、阿部教育長さん。  |
| 阿部教育長 | 伊藤委員さんの方から、教科書の採択にあたって、または、新居浜市の保護者の代表であるPTA連合会からも、教科書のサイズについて考えてほしいという要望が出されました。内容を大事にするのか、大きさを大事にするのか、いろいろあると思いますが、今回、東京書籍にしても、帝国書院の地図にしても、開隆堂にしても、A B型、普通のB型よりも3cm幅の広い教科書というかたちになっております。ふと以前思い出したら、子どもたちに渡している資料集、ワーク類についても、いろいろな物があるのではないかなと思いました。 |

|               |   |
|---------------|---|
|               | <p>事務局の方で調べている物などありますか。子どもたちが持っている教科書以外の図書で大きさについて、もしあれば紹介してください。</p>   |
| <p>三木委員長</p>  | <p>はい、お願いいたします。</p>   |
| <p>筒井指導主幹</p> | <p>市内の中学校の中で2校ほど、資料集・ワークブック等の判型について問い合わせを行いました。A校では、全体のうち約15%程度の教材がB6判、いわゆる現行スタンダードになっておりますサイズよりも大きい資料集・ワークブックでした。B中学校では、約8%、1割弱がB5サイズより大きい副教材・ワークブック等が見られました。以上です。</p>   |
| <p>阿部教育長</p>  | <p>ありがとうございました。伊藤委員さんから、子どもたちの通学の安心や安全、または健康という面からのお話がありましたが、学校現場の方にも、子どもたちが通学してくる時にどれだけの物を持ってきているか、先生方にも考えらる必要があるのではないかなど。やはり考慮するという、配慮するっていうことも今後、考えていかないといけないのかなという気がしています。先程も言いましたように、教科書の、またそれに関する参考書類がだんだん大きく、重たくなってきつつある。実は、小学校の教科書についても算数、理科関係の教科書が厚くなってきています。そして、大型化してきています。と言いますのも、学習内容が以前よりも増えてきている。だから、どうしても量的にも増える。そのあたりを今後、教育委員会としても、また学校現場としても考えていくことが必要ではないか、ということをご提案する必要があると思われました。</p> |
| <p>三木委員長</p>  | <p>はい、ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p>  |
| <p>委員一同</p>   | <p>はい。</p>  |
| <p>三木委員長</p>  | <p>それでは、以上で、議案第34号 平成24年度使用中学校教科用図書について終了といたします。では、ここで10分間の休憩に入りたいと思います。</p>  |

| 《 休 憩 》 |   |
|---------|---|
| 三木委員長   | <p>それでは、会議を再開いたします。</p> <p>それでは、教育長さんの一般報告をお願いいたします。</p>  |
| 阿部教育長   | <p>それでは、一般報告を行います。資料の４ページをご覧ください。</p> <p>7月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>7日 平成23年度愛媛県人権教育協議会新居浜支部総会が開催されました。</p> <p>8日 平成23年度新居浜市中学生弁論大会が、新居浜ロータリークラブ及び新居浜南ロータリークラブの支援を受け、第45回目の大会を開催いたしました。各中学校の代表の12名の弁士が自分自身の体験から感じたことや決意を感情豊かに語ってくれました。第1席に北中学校 飯尾夏帆さんの「事実を知ることの大切さ」、第2席に船木中学校 井出雪乃さんの「心に響く言葉の力」、第3席に船木中ひびき分校 高松ひかるさんの「本当の家族」が選ばれました。</p> <p>第11回全日本少年少女空手道選手権大会に県代表として出場することになった真誠館道場の4選手、角野小学校 井上篤史選手、大西駿太選手、丸山千尋選手、中山千愛実選手が、柿本正雄館長と、喜びと抱負を市長に報告に来られました。</p> <p>9日 「池田池をわたる風とマンドリン」コンサートが真夏の日差しが弱くなった夕方から、池田池のステージで開催されました。船木小学校の金管バンド・船木中学校音楽部や船木和太鼓クラブ等の演奏の後、軽快なマンドリンを中心とした音楽に、日中の喧騒を忘れる快さを感じることができました。</p> <p>10日 身体障害者チャリティー第14回オープントーナメント西日本拳法道選手権大会が、西日本各地の小学生から成人までの選手の参加を得て、山根総合体育館で開催されました。</p> <p>また、第26回誠道館拳法新居浜支部大会が高津小学校体育館で開催されました。子どもたちのひたむきに相手に向かっていく姿を見ることができました。</p> <p>11日 東予教育事務所管内教育長会が東予地方局で開催され、特別支援教育の通級指導教室の設置や中学校教科書採択についての意見交換や情報交換が行われました。</p> <p>12日 第1回新居浜駅周辺モニュメント設置審査委員会が</p> |



開催されました。

14日 西中学校区での教育懇談会が開催されました。

15日 教育委員会取組方針について、7月末までの進捗状況の教育長ヒアリングが26日までの期間で実施されました。

後ほど、議題として報告いたします。

スウェーデンで開催される、ボーイスカウト第22回世界スカウトジャンボリーに参加する3名のスカウトと指導者が市長に抱負を報告に来られました。22日には中央公園から団員・保護者の方々の見送りを受け元気に出発していきました。

18日 愛媛FCと京都サンガFCとの試合が、新居浜市のマッチシティとしてニンジニアスタジアムで開催され、新居浜市の惣開少年サッカースクールと船木SSの団員が選手のエスコートキッズとして参加しました。

19日 第72回国民体育大会のセーリング競技の会場としてマリパーク新居浜が予定されており、施設状況について日本セーリング連盟国体委員長・副委員長が中央競技団体の正規視察に来られました。

平成23年度新居浜市教科用図書採択委員会が開催されました。市内小・中学校の保護者の代表、学識経験者、市内小中学校教育関係者の代表の皆様にご委員をお願いしております。

20日 小・中学校の第一学期終業式の日でしたが、台風6号の影響で、午後や翌日に延期した学校もありました。

21日 平成23年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会が伊方町で開催されました。記念講演では佐田岬みつけ隊 副隊長 黒川信義氏による「海を渡った五輪塔」と題して、佐田岬半島の中世石造物についての研究から、当時の人々の生活や宗教観、また、九州地方や中国地方とのかかわりについて講演されました。

第47回新居浜市小学校水泳記録会が角野小・宮西小で開催されました。

22日 第31回全日本バレーボール小学生大会に県代表として参加する神郷ジュニアバレーボールクラブの選手・監督のみなさんが、市長に喜びや抱負を語ってくれました。

23日 「夏休み よんでんグループ科学体験フェスタ」が銅夢にいはまで開催されました。イベントの一つとして、「新居浜市小・中学生科学奨励賞受賞作品」の「日光食堂のSUNSU

N定食」を研究した垣生小学校 大西慈恩さんと大西梨里さん、「めっきに挑戦」を研究した西中学校 二瓶穂香さんの発表と体験教室が持たれました。

「ラブ金子ふるさと夏祭り」が、夕涼みがてら、金子小学校グラウンドで地域の方々の参加を得て、たいへんにぎやかに開催されました。

26日 愛知県安城市議会の経済福祉委員会の方々が「こども発達支援センター」の視察に来られました。

27日と28日にNHK合唱コンクールが開催され、小学校では、金賞に新居浜小学校・高津小学校・惣開小学校、中学校では、西中学校・泉川中学校・角野中学校が金賞を受賞し、東予地区の代表として県大会に出場することになりました。また、先日の8月4・5日に県大会が行われ、4日の小学校の部では金賞に高津小学校、銀賞に惣開小学校・新居浜小学校が選ばれました。そして、5日の中学校の部では金賞に西中学校、銀賞に泉川中学校、銅賞に角野中学校が選ばれ、金賞を受賞した西中学校は四国大会に見事出場することになりました。四国大会でも活躍することを期待したいと思います。

28日 にはま子ども環境サミットが開催されました。報告書をご覧ください。今年は「私たちが今できること」のテーマで、講師には新居浜市出身の伊東昭典氏が開発した装置を使って、廃プラスチックの油化実験装置からリサイクルの新技術を体験しました。

別子銅山記念図書館で小学生を対象に「なつやすみ図書館探検隊」と「夏休み体験一日図書館員」の体験活動が開催され、53名の小学生が貴重な体験をしました。

29日 社会教育課と新居浜青年会議所との共催で『見たい！知りたい！感じたい！今こそ開け 新居浜の扉！～自然を体感 別子山～』とのテーマで、31日までの日程で、四阪島クルージング、旧別子への登山等の2泊3日の体験活動が行われました。4年生から6年生までの50名が参加し、父親に代わる青年会議所のお兄さん方の支援を受け、海から山までの新居浜の自然を体感し、産業遺産を学び、有意義な体験活動ができました。参加した子供たちには深く心に残るものになったことと信じています。協力をいただきました青年会議所の方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

県総体の報告会が行われ、主な成績として、見事優勝のバドミントン男女団体中萩中、新体操女子団体南中、おしくも準優勝のバドミントン団体男子川東中、女子団体大生院中が四国大会に出場し、個人として、ソフトテニス男子、バドミントン男女単・複、陸上、水泳、柔道に出場することになっています。

新居浜市からは63名の選手が8月6・7日の四国大会に参加することになりました。期待したいものです。

平成23年度CAPプログラム教職員ワークショップ未受講者研修会が、CAPにはまの指導のもとに開催されました。

新居浜市学校給食研修会が開催され、「学校における食育の推進の観点について」愛媛県教育委員会の石山香指導主事さんと、「労働災害の防止について」新居浜労働基準監督署の松本正基課長さんの講演が行われました。

30日 おもちゃ図書館きしゃポッポの和太鼓10周年記念コンサートが開催され、子どもたちと大人たちの力強い演奏が行われました。

31日 第25回市民一斉清掃が行われ、教育委員会は阿島川河口のゴミ拾いを中心に行いました。発泡スチロールの多さにびっくりしました。

平成23年度「新居浜市小・中学生子ども会議」が開催されました。「郷土新居浜の素晴らしさを知るために」のテーマで話し合わせ、中学校区でどんな素晴らしいものがあるかを出し合い、その後、これらを活かしていくために「自分たちにできること」、「学校・先生や家庭・保護者に望むこと」について発表しました。報告書をご覧ください。この場で話し合われた内容について、保護者、教職員、教育委員会等の会合で是非とも話し合いの深まりを探っていききたいものです。

あすなろ教室の進路相談会が開催され、相談組数11組、相談人数21名が参加いたしました。新居浜西高等学校定時制・今治精華高校特別カリキュラムコース・今治精華高校通信制・今治明德高校総合サポートコース・学校法人河原学園未来高等学校の先生方には進路相談に協力いただき誠にありがとうございます。保護者や子供たちにとって、まだ進路の第一希望も定まっておらず、不安を抱きながら参加された方がほとんどであろうと思われます。適切な進路選択ができるよう支援していきたいと考えております。第2回目の進路相談会は11月22

日（火）の19時からを予定しています。

8月1日 平成23年度新居浜市中学生国際交流事業アメリカ訪問団の第1回事前研修会が開催されました。生徒と保護者が参加し、訪問団の主旨や目的、日程、パスポートの取得等についての説明や、一人一人の生徒の期待することについての発表が行われました。出発までに7回の予定で事前研修を行うことになっています。10月29日から11月8日までの9泊11日間の体験活動となります。

3日 市内中学校生徒会交流会が行われました。山根体育館に集合し、自己紹介からマイントピアまでオリエンテーリングをしながら交流を深めていきました。

4日 平成23年度第2回特別支援教育講演会として「うわわ手帳～娘のアスペルガー症候群～」の演題で高橋尚美先生（保護者）の講演と娘さんの高橋紗都（14歳・中学3年生）さんのギター演奏が行われました。市内の小・中学校の教職員や保護者520人が参加いたしました。紗都さんが9歳の時、発達障害のアスペルガー症候群と診断を受け、彼女の育ちから、障害の理解と支援に家族として取り組んでこられた体験を伝えてくれました。学校教育の中で、障害を抱えている子どもたちに関わっていくうえで大変参考になり、また、紗都さんのギター演奏は、これからの子どもたちの可能性を信じることに繋がったものであったと思います。障害は理解と支援を必要とする個性であり、障害への適切な対応を理解し、実践できるなら、障害名はなくなると信じています。

4日 養護教育制度70周年記念学校保健功労者文部科学大臣表彰において、長年の取組に対して川東中学校養護教諭 田中恵子さんが受賞致しました。

5日 別子銅山記念図書館で「夏の夜のちょっとこわいおはなしかい」が、子どもを中心に保護者も含め162名が参加し、暗くなった19時15分から、多目的ホールを使ってのこわいお話の読み聞かせや語りが行われました。

8日 泉川中学校の美術部員が廃屋の壁に描いた絵が完成しました。泉川中学校の正門北側には廃屋があり、長年、人が住んでいなかったため建物は壊れ、庭には樹木が生い茂り、ゴミが散乱していました。3年前から学校支援地域本部が中心になり、この場所の環境整備に取り組んでくれています。生い茂った

樹木を取り除き、花壇もできました。壊れた建物の壁にはトンネル板を張り付けました。

そんな活動によって、泉川中学校前は別世界に生まれ変わりました。今回、そこに新しい中学生手づくりの美術作品が生まれました。泉川中学校の美術部員10名が、夏休みの2週間をかけて、建物の壁面にすばらしい絵を描き上げたものです。絵のテーマは『絆』です。大きなひまわり、チューリップなどが咲き乱れる中に、笑顔の子どもが3人、その姿を空からスズメが眺めている心温まる明るい図柄です。本日の愛媛新聞にその記事が掲載されておりました。

中学生も地域のために何かできることはないかとみんなで考え、夏休みの時間を割いて、汗をかきながら協力してできたものです。

中学生も地域の一員として役割を果たしていけば、地域の大人にもその思いは伝わり、みんなでまちをつくっていく風土が根付いていくに違いありません。まちかどに生まれた小さな美術館をこれからも見守っていきたいものです。

9日 南中女子ソフトボールチームの選手が第11回全日本中学生男女ソフトボール大会に県大会で優勝し、県代表として全国大会に出場することになり、市長さんにその喜びと抱負を自信あふれる態度で語ってくれました。

その他、8月の主な行事予定について報告を申し上げます。

11日 人権のつどい日

中学校四国総体報告会（市民文化センター）

18日 第4回小・中教頭研修会（市民文化センター）

19日 CAPプログラム講演会（市民文化センター）

24日～25日 前期発達支援スキルアップ連続講座（別子銅山記念図書館）

25日 第2回小・中教務主任研修会（市民文化センター）

26日 中学校新人体育大会（水泳）（泉川中学校）

「新居浜市夢広がる学校づくり推進事業」選考委員会

29日 小・中学校人権・同和教育講演会（市民文化センター）

31日 国体ウエイトリフティング競技正規視察

以上で、一般報告を終わります。

|       |  |
|-------|--|
| 三木委員長 | <p>ありがとうございました。ただいまの教育長さんの一般報告について何かご質問やご意見などは、ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p>  |
| 委員一同  | <p>はい。</p>   |
| 三木委員長 | <p>それでは、その他に移ります。<br/> まず（１）平成２３年度新居浜市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>   |
| 関総括次長 | <p>はい。お手元にお配りしております、新居浜市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価について、平成２０年９月４日議決の文書をお目通しいただきながら、話を聞いていただけたらと思います。</p> <p>教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価につきましては、平成１９年６月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、平成２０年度から始めた事務で、今回で４回目となるものでございます。教育委員会の事務事業について、点検・評価を行い、それを広く市民の皆様方にも報告することで教育委員会としての説明責任を果たすものでございます。</p> <p>資料の１、２ページをご覧くださいと思います。</p> <p>今年度の事業の実施につきましては、基本的には初年度であります平成２０年度に定めました方針に従いまして、その内容を継承してまいりたいと考えております。</p> <p>概要といたしましては、昨年度、平成２２年度に実施した事務事業を各担当課所において、３ページにあります自己点検評価票で自己点検評価を行い、その事務事業の中から主要なもの３点もしくは４点くらいを選定し、教育に関し学識経験を有する方々から意見・助言をいただき、今後その事務事業の改善に向けて取り組んでいく、その参考にさせていただきたいと考えております。</p> <p>その裏のページ、４ページの方をお開きいただけたらと思います。</p> <p>そこには、今年度これから進めていくスケジュールを掲げております。本日の教育委員会におきまして、いろいろご審議をいただいたものをふまえ、９月の下旬までに、各課所におきまして点検・評</p> |

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>価作業を行い、取りまとめさせていただきます。9月下旬から10月上旬にかけて、学識経験者の意見・助言の聴取を行い、その後、報告書作成等を経て、11月の教育委員会において、ご承認をいただき、12月の市議会へ報告をいたしたいと考えております。なお、その後、市民の皆さん方にもホームページ等で情報の提供を図ってまいりたいと思います。</p> <p>学識経験者の選任につきましては、これまで3年間、お世話になってまいりました元新居浜市PTA連合会会長であった今井 基博氏、新居浜市教育委員会教育委員であられた小野 トヨミ氏、愛媛大学名誉教授であります讃岐 幸治氏、この3名の方々を学識経験者として選任をさせていただいて、評価を続けてまいりたいと考えております。なお、報告書の作成につきましては継続的な事業もかなりございますので、一定の選別をした上で取りまとめてまいりましたので、これにつきましても、去年と同様に進めていきたいと考えております。なお、ここで取り上げる事業といたしましては、全部で73の事業のうち15事業程度、先程申しました各課所、多いところでも4事業くらいにまとめて具体的な意見を求めてまいりたいと考えております。そのような内容で進めてまいりたいと思いますので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p> |
| 三木委員長  | <p>はい、ありがとうございました。現時点でご意見・ご質問のある委員さん、いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>   |
| 委員一同   | <p>はい。</p>  |
| 三木委員長  | <p>それでは、このような内容で進めるということに賛成の委員さんは挙手をお願いいたします。</p>   |
|        | <p>(全員挙手)</p>   |
|        | <p>はい、それでは、よろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>   |
|        | <p>次に移りたいと思います。連絡事項等ございますでしょうか。</p>   |
|        | <p>はい、よろしく願いいたします。</p>  |
| 高橋事務局長 | <p>お手元に新居浜市教育委員会の取り組み方針の7月末現在の進捗状況をまとめたものをお配りしております。内容的に非常にたくさんございますので、全件説明しますとかなりの時間がかかります</p>   |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | <p>ので、また目を通していただきまして、その中で特に疑問に思う点とか、この点については説明してほしいというところを抜き出して、26日の「新居浜市夢ひろがる学校づくり推進事業」選考委員会の時に社会教育課まで提出していただきたいと思っております。その内容につきましては、9月の定例教育委員会の中で説明させていただきますまして、その後、ホームページに掲載したいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。様式は特にございませんので、それに書いていただいてもよろしいですし、別紙のメモでも結構ですので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>  |
| <p>三木委員長</p>    | <p>はい、わかりました。よろしいでしょうか。</p>  |
| <p>委員一同</p>     | <p>はい。</p>   |
| <p>三木委員長</p>    | <p>では、よろしくお願いいたします。他よろしいでしょうか。<br/>はい、よろしくお願いいたします。</p>  |
| <p>伊藤学校給食課長</p> | <p>はい、学校給食課です。お手元の資料をご覧ください。教育長の一般報告にもありましたように、7月29日に女性総合センターの方で新居浜市学校給食研修会が開催されました。講演を2ついただきまして、「学校における食育の推進の観点について」ということで愛媛県教育委員会保健体育課、指導主事であられます石山香氏に講演いただき、その時、学校での衛生管理、食中毒を発生しないためというふうなことで慢性的に調理員さんがやっていることについても、これはいけない、あれはいけない、このようにした方がいいというようなご指導をいただきまして、各学校に持ち帰っていただきました。2件目の講演につきましては、「労働災害の防止について」ということで、労働基準監督署の松本正基氏より講演いただきまして、平成22年度は前年比で13%減ったが、製造業では増となったというような報告がございました。また年齢別では、20代・50代が多くなり、20代は作業に不慣れであるということ、50代はどういった理由かという、以前はできていたのに肉体の衰えから自覚が足りないという要因から事故が増えていると。昔はできていたのということがあるので、50になったら気をつけてくださいというような報告がありました。やはり私もその時期になっておりまして、昔できていたのというところがありますので、</p> |



感銘深い講演になりました。それを踏まえて、調理員さんとか栄養士さんに各学校へ持ち帰っていただきまして、二学期以降、食中毒がないように労働災害がないようにということで努めてまいりたいという報告です。

もう1点は、平成23年度の学校給食における精米の使用量ということで、資料をご覧ください。昨年度、新居浜市の農業生産団体の方から精米を学校給食に使用していただけないかというような申し出があり、本来であれば、愛媛県学校給食会の方から、精米を全てひめライスを通じて納入しておったわけですが、本年度11月から、その申し出を受けて表にあります給食センターで委託炊飯7校を除いた各調理場の方へ年間20トンの供給をしていただけるようになりました。あくまで新居浜産のものを新居浜の生産団体の者が各調理場へ配達するというようなことで、地産地消の意味で20トン増えてくると。例年であれば37%から38%の精米が新居浜産の地産地消でありましたものが、20トン増えますので、約50%程度になる予定でございます。

もう1点、学校給食費の未納状況につきましてご報告させていただきますと、平成23年7月末現在、平成22年度分につきましては1,138,357円ということで、平成23年度が882,392円ということなのですが、現状では例年と比べて、平成23年度分につきましては、年度では変わらないような状態です。ただし、今まで未納がなかったところに未納者が増えていきます。例えば、新居浜小学校・宮西小学校・金子小学校・金栄小学校・若宮小学校等が何件か増えておりますので、注意していただきながら、未納がないように学校の方から通達していただくようにしております。中学校にも未納が増えておりますが、前納なのに未納が増えるというふうなことでは、あくまで今まで払っていただいていたのですが、その月だけ落ちていない。ただ、今まで払っていただいていたので給食を提供したというような状況がありますので、その辺校長先生、また給食主任に、それを見極めてください、未納が無いようにお願いしますと伝えております。資料はございませんが、平成23年2月に支払い申し立てをした16世帯につきまして、ご説明いたします。3世帯につきましては、異議申し立てがあり、本日もあったのですが、分割払いをするという和解ができました。1世帯につきましては全額支払い。残り12世帯の内、10世帯につきましては強制執行可能な状況になっております。あとの2世帯につきまし

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>ては支払い督促の申し立て、そのあと仮執行宣言がでておりました、その文書の送達期間中でございます。何もなければ、その2世帯につきましても強制執行可能な状態になります。理事者と相談させていただきまして、8月末までには強制執行の申し立てを行う予定で、今準備を進めております。以上です。</p>                                       |
| 三木委員長         | <p>はい、ありがとうございました。阿部教育長よろしくお願いたします。</p>  |
| 阿部教育長         | <p>先ほどの学校給食課からの報告ですが、地産地消というのは学校給食の中では特に言われております。そういう中で、新居浜市は野菜であるとか地産の物が非常に少ない、農地が少ない状況ですが、今回、米作農家から20トンの米を小・中学校の給食会の方へご協力いただけることについては、学校給食課、また経済部であるとか、農協の取りまとめてくれた方へお礼を言いたいと思います。</p> |
| 三木委員長         | <p>はい、ありがとうございました。他に連絡事項等ございませんか。</p>  |
| 太田委員          | <p>ご質問よろしいでしょうか。</p>   |
| 三木委員長<br>太田委員 | <p>はい、太田委員さん、お願いたします。<br/>今の精米の件について、関心も高いと思いますので、確認するのですが、今、新居浜で使われているお米はどこから来ているのでしょうか。50%が新居浜産になるというのはお話にあったんですけども。</p>   |
| 伊藤学校給食課長      | <p>先ほど申しましたように、この20トンを含めて新居浜産、約50トン強、年間100トンくらい使いますけれども、その他の50トンにつきましては東予産になります。</p>   |
| 太田委員          | <p>全部、愛媛産ということですね。</p>   |
| 伊藤学校給食課長      | <p>はい、愛媛産です。</p>   |
| 太田委員          | <p>ありがとうございました。</p>  |

|       |  |
|-------|--|
| 三木委員長 | 他に何かございますか。はい、伊藤委員さん。  |
| 伊藤委員  | また、次回の定例会の時結構なのですが、醤油・酒・みりん等の調味料関係で新居浜の企業産の調味料等がどのくらい新居浜の給食に使用されているか。あと、これは入札だと思うのですが、地元の業者さんと大手業者さんとの金額の差を、もし分かれば教えていただきたいと思います。  |
| 三木委員長 | はい、よろしいでしょうか。ありがとうございます。他に連絡事項等ございますでしょうか。はい、阿部教育長さん。  |
| 阿部教育長 | <p>お手元に定例教育委員会資料 7月分生徒指導関係という資料があると思います。一学期が終わりまして、教育委員会として最重要課題として、いじめ・不登校をなくすという取り組みをしておりますが、一学期30日以上欠席した子どもが小・中で60名、昨年度より10名近く多いという結果になっています。その多い理由として、統計資料を見ていただけたらと思うのですが、4番の学年別のところで小学校2年生で初めて不登校と。今までだいたい小学校の高学年5、6年生になって不登校と言っていたのですが、今年は2年生から不登校が出ております。この子どもについて、あまりにも早いので、今学校といろいろ話し合いをしております。子どもというのは学校だけの生活ではなくて、半分は家庭生活があります。やはり小学校、低学年での不登校というのは家庭の影響が強いなというふうに思います。なお、この夏休み中に各学級担任に不登校生について、一学期の反省と、新たな二学期へ結びつけていくものを考えていただきたいという形で伝えております。</p> <p>次に、いじめに関してですが、7月は小学校で1件の報告があり、中学校では報告を受けておりません。また、4月以降からは小学校で11件、中学校で1件、全部で12件のいじめが報告されております。全て解消していると伝えられております。全国的に言いますと、いじめというのは文科省の統計では増えておりますが、新居浜の場合は、昨年度よりも減ってきているというのが現実です。本当に減少しているのか、見えていないだけなのかという観点でも、夏休みにある生徒指導主事会等で検討をしてみよう方向でおります。</p> <p>次に、一学期期間中の不審者情報についてですが、5件の不審者情報の報告がきております。昨年は下半身露出というのが31件中</p> |

|                   |   |
|-------------------|---|
| <p>三木委員長</p>      | <p>23件でしたが、本年度は一学期中、下半身露出というのはゼロでした。声掛け・追いかける・体を触るという報告がありました。</p> <p>次に、7月の子どもたちの緊急搬送について、交通事故が4件ありました。全て自転車に乗っているの事故です。軽傷ということで伝えられておりますが、いつ重傷に結び付くかといったこともありますので、先程言いました教頭研修会の時に呼び掛けていきたいと思っております。以上です。</p> <p>他に何かございますでしょうか。はい、よろしくお願いいたします。</p>   |
| <p>木村スポーツ文化課長</p> | <p>お手元にピンク色のチラシをお配りしているのですが、新居浜芸術文化市民の会の主催によります第7回市民音楽祭が、8月21日（日）午後1時から市民文化センター大ホールで開催されます。市内の中学生・高校生を中心としたダンスや演奏などが実施されます。また、特別ゲストとして阿部一成氏をお呼びしまして、篠笛の演奏などもございますので、お時間ございましたら見ていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>  |
| <p>三木委員長</p>      | <p>はい、ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。阿部教育長さん、よろしくお願いいたします。</p>  |
| <p>阿部教育長</p>      | <p>お手元に平成23年度の11校区での教育懇談会の報告書をお配りしております。教育懇談会では、教育委員さん、ご苦労さまでした。その教育懇談会全校区で591名の参加者がありました。</p> <p>今年度は、各校区に出していただいたテーマで全員参加の話し合いの場を設けました。今までは教育委員会の発表とか、学校の発表と要望事項だけでしたが、全体的に次へ残るものという形でやっていきたいということで、それぞれテーマを出していただきました。大生院では「基本的な生活習慣」、また、泉川では「地域・家庭・学校が一体となっていく小・中連携」とか、南中・船木中では、「地域ぐるみで挨拶のできる南中の生徒・船木中の生徒をどう育てていったらいいのか」、中萩では「見守り隊の活動を活性化するにはどういうふうなことがあるだろうか」というテーマで、各校区での課題を皆で協議し、こういうことをやっていきたいと思いますという話し合いができたのではないかなというふうに思っています。教育懇談会</p> |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>の取り組みについて、昨年度よりも128名が増えたということで、ご協力いただきました公民館関係、小・中学校またはPTAにお礼申し上げたいと思います。なお、具体的な懇談内容については、報告書に書いておりますので、目を通していただきたいと思います。</p>   |
| 三木委員長 | <p>ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。<br/>はい、宇野委員さん、お願いいたします。</p>  |
| 宇野委員  | <p>はい、先程の教育懇談会の件なのですが、井戸端会議も好評だったと思いますが、私は船木に参加いたしまして、船木の参加者が非常に多かったので様子を聞いてみると、それぞれの組織に全て声を掛けたという事と、小学校のPTAがあの場合の後、役員会を計画していたと。人数が集まるとか集まらないとかいう課題がずっとあるのですが、公民館や小学校・中学校のPTAの受け止め方で参加者を増やす方法はいろいろあるのだと思いました。保護者が多かったのですが、保護者に聞いたら「楽しかったよ」というお答えでした。</p> |
| 三木委員長 | <p>ありがとうございました。他に、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p>  |
| 委員一同  | <p>はい。</p>   |
| 三木委員長 | <p>それでは、次回の定例会の開催日を決めさせていただきたいと思います。9月の定例会は、9月1日（木）の16時より開催させていただくということでよろしいでしょうか。</p>   |
| 委員一同  | <p>はい。</p>   |
| 三木委員長 | <p>それでは、平成23年第8回新居浜市教育委員会定例会を閉会いたします。<br/>ありがとうございました。</p>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p> |
|--|---|